



美郷町の六郷高校を福祉科2期生として卒業した33歳の2人が、母校で実習助手と教諭として指導に当たっている。介護現場や他県の高校で経験を積んで六郷高校に戻り、介護福祉士の資格取得を目指す後輩たちを支援している。

実習助手の五十嵐智子さんは、横手市の介護老人保健施設で約13年勤務。結婚・出産を経て退職後、当時の担任で、今も六郷高校で教壇に立つ越後谷首十教諭(60)らに声を掛けられ2020年4月に着任した。「座学で習うだけでなく、実際に働くのとは違うこともある。人との接し方や働く上での心構えを丁寧に伝えていく」

生徒には「将来困ったときに助けになるのは高

母校・六郷高校で福祉科を担当する

五十嵐 智子さん(33)、佐藤 しずかさん(33) 美郷町

経験生かし後輩指導



校で頑張った自分。勉強は大変だけど自信を持って社会に出てほしい」とエールを送る。福祉科2年生の担任を務める教諭の佐藤しずかさんも20年4月に赴任。高校生の頃から「母校で生徒を送り出す立場にな

に就職する人が多いので、教員として地域にも貢献したい」と話す。自分も高校生活が楽しかったので、生徒が充実した日々を送れるようサポートしたい」

県内で福祉科があるのは六郷高校のみ。03年の創設後、この春卒業した17期生を含め約400人が巣立った。卒業生が実習助手として赴任したのは3人目、教諭は初めてだという。

授業では五十嵐さんが実習、佐藤さんが座学を担当。2人は幼稚園からの幼なじみで、互いの存在を「心強い」と口にする。刺激を受け合いながら、それぞれの立場で生徒と向き合う日々を送っている。(佐藤将弥)

〈随時掲載〉

実習助手を務める五十嵐さん(左)と教諭の佐藤さん